

2月27日

南ブロック会議 3年ぶりに開催

今年度は、山城地区社協が幹事地区となり、3年ぶりに南ブロック会議を開催しました。「地区社会福祉協議会における組織間連携について」をテーマに、それぞれの地区社協が行っている取り組みや、課題について、意見交換を行いました。



自治会長が1年、福祉推進員が2年、民生委員が3年と任期が異なるため、メンバーが固定化しない。



LINE等の新しい通信方法を、役員や福祉推進員などみんなが使えると、もっとスムーズに連絡を取りあえるのではないかな。



地区社協の認知度がまだ低い。。



自治連との連携が難しい。。



携わっている人が高齢者、後継者づくりが課題。

毎月の自治会長会議に各種団体の長も出席をしている。各団体の年間計画も共有している



LINEグループを作って連絡を取り合いはじめた。何かあった際にも一斉に連絡ができるのが便利。



地区社協だよりを発行している。写真を多く掲載し、活動を知ってもらえるように工夫をしている。



自治会ごとのチーム編成でグラウンドゴルフ大会を開催。

顔合わせが出来たことで、その後の三団体合同会議は、意見交換が活発になった。



共働きで活動に参加することが難しいなど要因や、若い世代との考え方の違いを受け入れていく必要もある。



高齢化の高い地区と低い地区とが混在する南ブロックではありますが、担い手の高齢化という共通する課題がありました。

新しい情報ツールを活用したりしながら、担い手の負担を少なくしたり、若い世代にも地区社協の皆さんの活動が知ってもらえるように、私どもも情報提供やお手伝いをさせていただきたいと思っています。

